



古川 昇
議員

質問 介護保険について

今後の特養等施設の拡充計画と特例入所などの入所判定基準の考えについて、地域包括支援センターが進めている地域課題把握の取り組みと地域ケア会議の現状、今後の取り組みについて伺う。

また、新オレンジプラン※の推進と新たな取り組み「あったカフェ」が、それぞれ歩み出した状況について伺う。

▼市長答弁

今年度に特別養護老人ホーム40床の整備と、短期入所施設から特別養護老人ホームへの転換8床を計画している。また、要介護1、2の方の特別養護老人ホ

ームへの特例入所の要件は、国、県の指針に基づいている。

地域包括支援センターの取り組みについては、今年度から市内全域の地域診断の取り組みを始めており、そこで出された結果を総合事業の協議の参考としていく。また、現在、地域ケア個別会議を開催し、推進会議へつなげて地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいく。

新オレンジプランについて、認知症の早期診断・早期対応のための体制として、初期集中支援チームの設置について医師会と協議していく。また、あったカフェについては、4月から月1回、4か所の会場で定期的開催し、情報交換の場となっている。



吉岡 静夫
議員

質問 市の行政や市役所の中身・動き、どこまで普通の市民(特に弱い立場の)一人一人に知らされているのか、知らせようとされているか

(1) 桂・工場用地問題

この問題は、「企業誘致・雇用拡大・地域活性化」のかけ声かけや旗振りなどに振り回されないようにという反省・自省の教訓を残してくれている。

しかし問題はその後。当案件に類した事例にぶつかる時がまたこないとも限らない。そういった事態に備えた、全体的なものと事例ごとのマニュアルづくりについて、その後どう取り組んできたか。

(2) ジオパーク事務所対応

糸魚川市は数ある「ジオパーク」のひとつにすぎないはずであり、だからこそ4年ごとの再審査対象であるのだろうが、その糸魚川市の東京事務所に、日本ジオパーク全体のための事務所が同居している。これは、家賃がどうこうとかいう次元の問題ではなく、筋が通らない。このことについての基本的な考え方を伺う。

▼市長答弁

(1)市が土地を購入する場合には、国が定めた「公共用地の取得に伴う損失補償基準」に基づき、事案に対応しているので、市独自のマニュアルづくりは考えていない。

(2)日本ジオパークネットワークの理事長を務める立場として、ジオパークの一層の推進を図るうえで、今後もこの体制を継続していきたい。

その他質問項目

- 旧姫川病院対応
- B&Gプール問題
- 権現荘・温泉センターの在り方
- マリンドリーム関係訴訟



※ 新オレンジプラン… 認知症施策推進総合戦略。認知症高齢者にやさしい地域づくりに向けた取り組み。